学校番号	1201

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）暮らしの数学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	―						
副教材等	―						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

就職希望の生徒を対象とする科目である。
数学的活動を通して、課題を数学的に考察することの有用性を認識し、粘り強く問題解決に取り組む態度を身に付けられるようにします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・数量や図形に関する概念などと日常生活との関わりについて理解する。
・数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と日常生活の関わりについて理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
・数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察する。
・情報を整理し、論理的に組み立てることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・活動を通して、課題を数学的に考察することの有用性を認識しようとする態度を養う。
・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と日常生活の関わりについて理解を深め、数量や図形に関する概念を身に付けることができる。	与えられた情報を整理し、論理的に組み立て、数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。	数学に関する数理的な諸概念に興味・関心をもち、それらを意欲的に探究するとともに、数学を実生活に活用しようとする態度を育成する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	基礎計算・経済と数学	四則の混合算 小数の計算 分数の計算 方程式 単理法の仕組み 複利法の仕組み ローンの返済	a: 単利、複利、ローンの仕組みを理解することができる。 b: 単利、複利、ローンに関する数値を求めることができる。 c: 単利、複利、ローンについて自分自身の卒業後の実生活に関わるものととらえて取り組むことができる。	課題 確認テスト プリント	課題	課題
	比・割合の計算	比の計算 割合の計算 損益算 %の計算 濃度算	a: 立てられた式を正しく計算することができる。 b: 文章から必要な情報を抜き出して、立式することができる。 c: 比、割合、%の計算を実生活に活かそうと取り組むことができる。	課題 確認テスト プリント	課題	課題
3学期	基礎から学ぶSP	速さ・時間・距離 年齢算 仕事算 確率 期待値	a: 1単位あたりの量を計算することができる。 b: 文章から必要な情報を抜き出して、立式することができる。 c: 速さの計算を実生活に活かそうと取り組むことができる。	課題 確認テスト プリント	課題	課題
	基礎計算・経済と数学	四則の混合算 小数の計算 分数の計算 方程式 単理法の仕組み 複利法の仕組み ローンの返済	a: 単利、複利、ローンの仕組みを理解することができる。 b: 単利、複利、ローンに関する数値を求めることができる。 c: 単利、複利、ローンについて自分自身の卒業後の実生活に関わるものととらえて取り組むことができる。	課題 確認テスト プリント	課題	課題
2学期	比・割合の計算	比の計算 割合の計算 損益算 %の計算 濃度算	a: 立てられた式を正しく計算することができる。 b: 文章から必要な情報を抜き出して、立式することができる。 c: 比、割合、%の計算を実生活に活かそうと取り組むことができる。	課題 確認テスト プリント	課題	課題
	基礎から学ぶSP	速さ・時間・距離 年齢算 仕事算 確率 期待値	a: 1単位あたりの量を計算することができる。 b: 文章から必要な情報を抜き出して、立式することができる。 c: 速さの計算を実生活に活かそうと取り組むことができる。	課題 確認テスト プリント	課題	課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度